

!今回の数字!

4,370

作成日： 令和 7 年 2 月 2 0 日
作成元： 坂井市役所情報統計課
TEL： 0776-50-3027
FAX： 0776-66-2935
MAIL： johotokei@city.fukui-sakai.lg.jp

〜坂井市に建つ住宅について〜

令和 5 年 10 月 1 日を期日とし、令和 5 年住宅・土地統計調査が実施されました。ご協力いただいた世帯の皆様、ありがとうございました。今回は令和 5 年住宅・土地統計調査の調査結果から、坂井市に関する住宅の実態を紹介します。

◇ 住宅・土地統計調査とは？

調査の目的

住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態、現住居以外の住宅及び土地の保有状況、その他住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的としています。昭和 23 年以来 5 年ごとに実施しており、令和 5 年調査はその 16 回目に当たります。

調査の根拠法令

統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計調査（基幹統計である住宅・土地統計を作成するための調査）であり、住宅・土地統計調査規則（昭和 57 年総理府令第 41 号）に基づき実施されました。

調査の対象

調査期日において、調査単位区内から抽出した住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにこれらに居住している世帯（1 調査区当たり 17 住戸、計約 340 万住戸・世帯）を対象としました。このうち坂井市では、153 調査区、約 2,600 住戸・世帯が調査対象となりました。

結果の推定方法

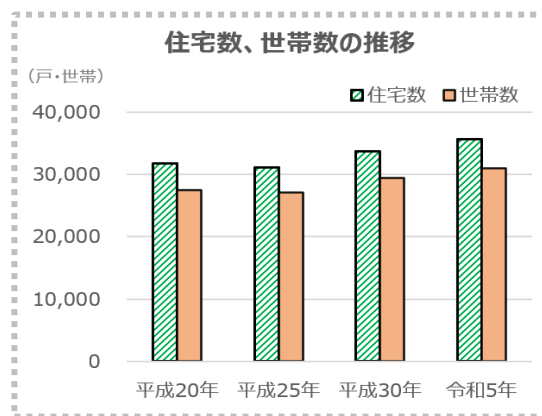
結果数値は、線形推定を行ったうえで、令和 5 年 10 月 1 日現在の市区町村別総人口に合致するように比推定用乗率を算出し、表章地域ごとに、調査単位区別の調査結果に線形推定乗率、比推定用乗率を乗じて合算することで推定値を算出しています。

◇住宅数、世帯数、空き家数について

令和5年10月1日現在における坂井市の総住宅数は35,710戸で、平成30年と比べて2,000戸の増加、総世帯数は31,040世帯で前回と比べ1,620世帯の増加となっています。

右のグラフは、住宅数、世帯数の推移（平成20年調査から）を示したものです。住宅数、世帯数ともに増加傾向にあることが分かります。

坂井市の空き家は4,370戸で、平成30年と比べて200戸増加していましたが、総住宅数に占める空き家の割合（空き家率）は12.24%と、平成30年（12.37%）と比べて0.13ポイント減少していました。



総住宅数、総世帯数、空き家数、空き家率（令和5年、前回との比較） 単位：戸、世帯、パーセント

	坂井市			福井県		全国	
	令和5年	平成30年	増減	令和5年	平成30年	令和5年	平成30年
総住宅数	35,710	33,710	2,000	341,400	325,400	65,046,700	62,407,400
総世帯数	31,040	29,420	1,620	286,700	279,300	55,665,000	53,616,300
空き家数	4,370	4,170	200	53,100	45,000	9,001,600	8,488,600
空き家率	12.24	12.37	△ 0.13	15.6	13.8	13.8	13.6

◇空き家数の内訳について

坂井市の空き家数のうち、最も多かった空き家は「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」であり、2,820戸という結果でした。「賃貸用の空き家」「売却用の空き家」「二次的住宅」が前回より増加しており、全体で200戸増加していました。

空き家数の内訳（令和5年、前回との比較）

単位：戸

	坂井市			福井県		全国	
	令和5年	平成30年	増減	令和5年	平成30年	令和5年	平成30年
空き家数	4,370	4,170	200	53,100	45,000	9,001,600	8,488,600
賃貸用の空き家	1,100	990	110	20,400	18,700	4,435,800	4,327,200
売却用の空き家	170	80	90	2,400	1,100	326,200	293,200
二次的住宅	280	220	60	1,400	1,400	383,500	381,000
上記を除く空き家	2,820	2,880	△ 60	28,900	23,800	3,856,000	3,487,200

＜空き家について補足説明＞

二次的住宅 … 週末や休暇時に避暑・避寒・保養等の目的で使用される住宅（別荘）や、普段住んでいる住宅とは別に宿泊まりしている人がいる住宅
上記を除く空き家… 転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の在宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅

※空き家の種類の判断が困難な住宅を含む

◇住宅の所有関係、構造、建て方について

右の表は、住宅数について、所有関係、構造、建て方の内訳を示したもので、平成20年以降の結果を抜粋しています。

住宅の所有関係は持ち家が24,350戸でした。住宅全体に占める持ち家の割合は78.4%という結果でした。借家は5,450戸で、平成30年と比べると1,690戸増加していました。

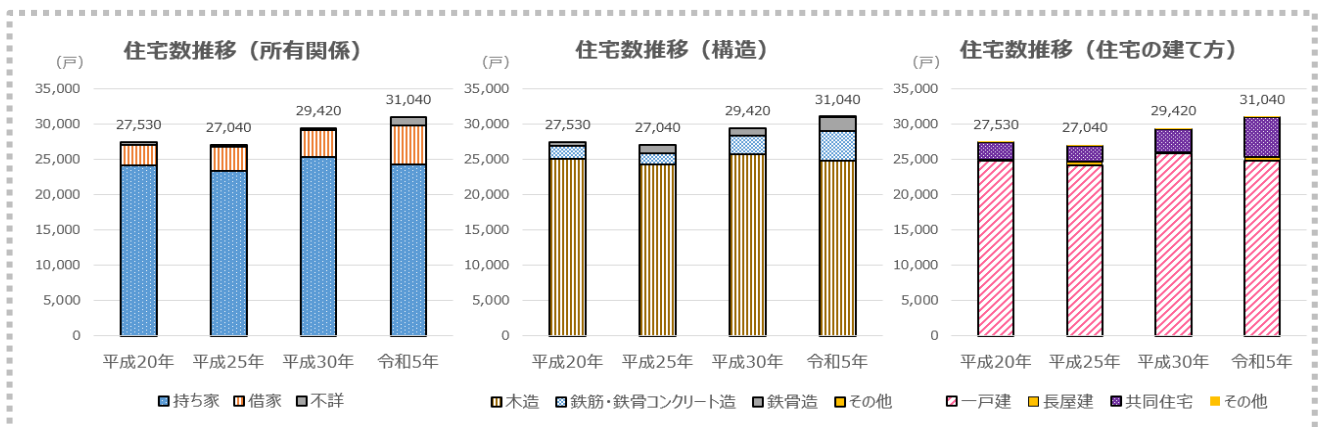
住宅の構造は木造が多く、24,910戸という結果でした。鉄筋・鉄骨コンクリート造は4,140戸、鉄骨造は1,940戸であり、平成30年と比べるとそれぞれ1,590戸、880戸増加していました。住宅全体に占める構造の割合を平成20年からみると、木造の割合は91.5%から80.3%に低下しており、住宅の非木造化が進行しています。

住宅の建て方は一戸建が多く、24,900戸という結果でした。長屋建は480戸、共同住宅は5,630戸であり、平成30年と比べてそれぞれ290戸、2,400戸増加していました。

住宅数の内訳

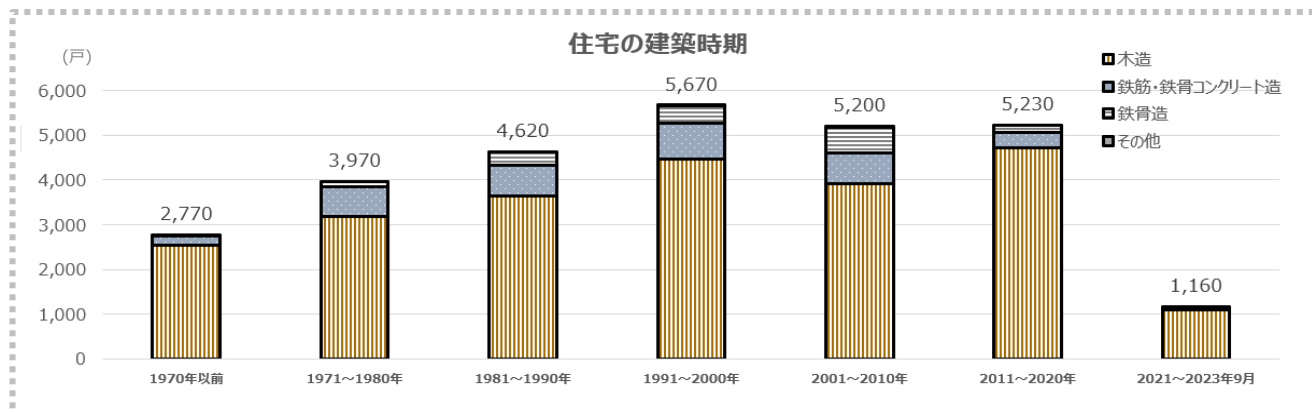
単位：戸

	平成20年	平成25年	平成30年	令和5年
住宅数総数	27,530	27,040	29,420	31,040
<所有関係内訳>				
持ち家	24,200	23,470	25,410	24,350
借家	2,840	3,320	3,760	5,450
<構造内訳>				
木造	25,180	24,280	25,820	24,910
鉄筋・鉄骨 コンクリート造	1,840	1,580	2,550	4,140
鉄骨造	500	1,180	1,060	1,940
その他	0	0	0	50
<建て方内訳>				
一戸建	24,870	24,210	25,900	24,900
長屋建	170	480	190	480
共同住宅	2,430	2,280	3,230	5,630
その他	60	70	100	20



◇住宅の建築時期

下のグラフは住宅の建築時期ごとに住宅数を示したものです。坂井市は1991年から2000年に建てられた住宅が最も多いことが分かります。



◇住宅の規模

右の表と下のグラフは、住宅数等の推移と、1住宅あたりの住宅の規模の推移を示したものです。

住宅数、世帯数は平成 25 年より増加傾向にあることが分かりますが、世帯人員は平成 20 年より減少傾向にあることが分かります。平成 30 年と比べると、世帯人員は 3,680 人減少していました。

1 住宅あたりの住宅の規模は、居住室数、居住室の畳数、延べ面積が年々減少しています。

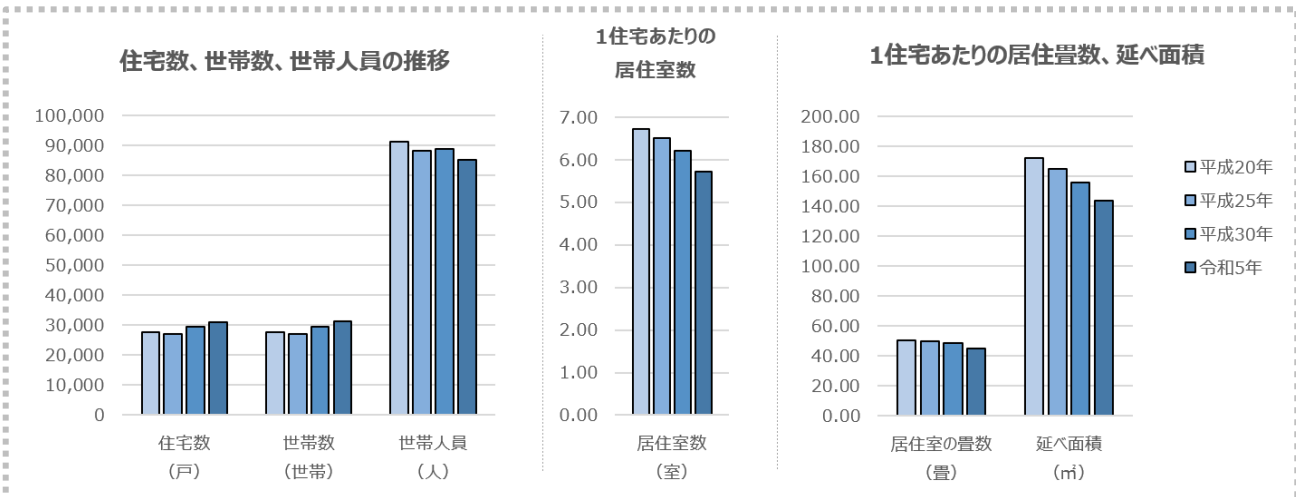
住宅数、世帯数、世帯人員の推移

	平成20年	平成25年	平成30年	令和5年
住宅数（戸）	27,530	27,040	29,420	31,040
世帯数（世帯）	27,530	27,110	29,610	31,280
世帯人員（人）	91,200	88,280	88,870	85,190

1住宅あたりの住宅の規模の推移

	平成20年	平成25年	平成30年	令和5年
居住室数（室）	6.72	6.51	6.21	5.72
居住室の畳数（畳）	50.76	49.73	48.90	44.92
延べ面積（㎡）	172.28	165.16	155.83	144.19

※（ ）内は単位を示している

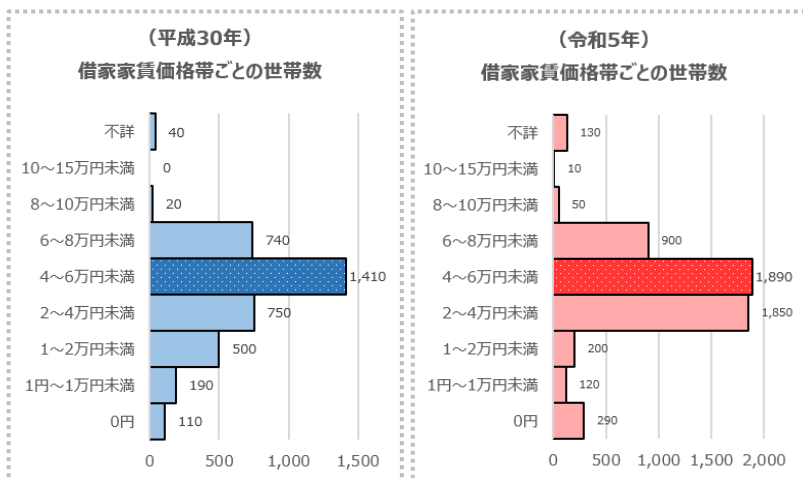


◇借家の家賃

令和 5 年と平成 30 年の借家家賃の価格帯ごとの世帯数を右下のグラフに示しました。

1 番世帯数の多かった価格帯は 4～6 万円未満で 1,890 世帯という結果でした。平成 30 年の 1,410 世帯と比べると 480 世帯増加しています。

次に多かった価格帯は 2～4 万円未満で 1,850 世帯という結果でした。平成 30 年の 750 世帯と比べると 1,100 世帯増加しています。

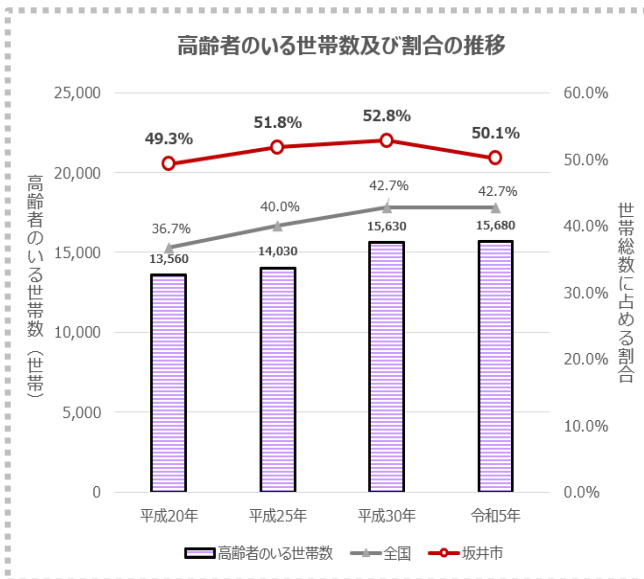


◇高齢者のいる世帯の状況

65歳以上の世帯員がいる世帯（以下、「高齢者のいる世帯」といいます。）の推移を右のグラフに示しました。令和5年は15,680世帯という結果となり、平成30年と比べると50世帯増加していました。

世帯総数に占める高齢者のいる世帯の割合は50.1%という結果となり、平成30年と比べると2.7%低下していました。

全国の世帯総数に占める高齢者のいる世帯の割合は42.7%であり、坂井市は高齢者のいる世帯の割合が全国の数値より高いことがわかります。

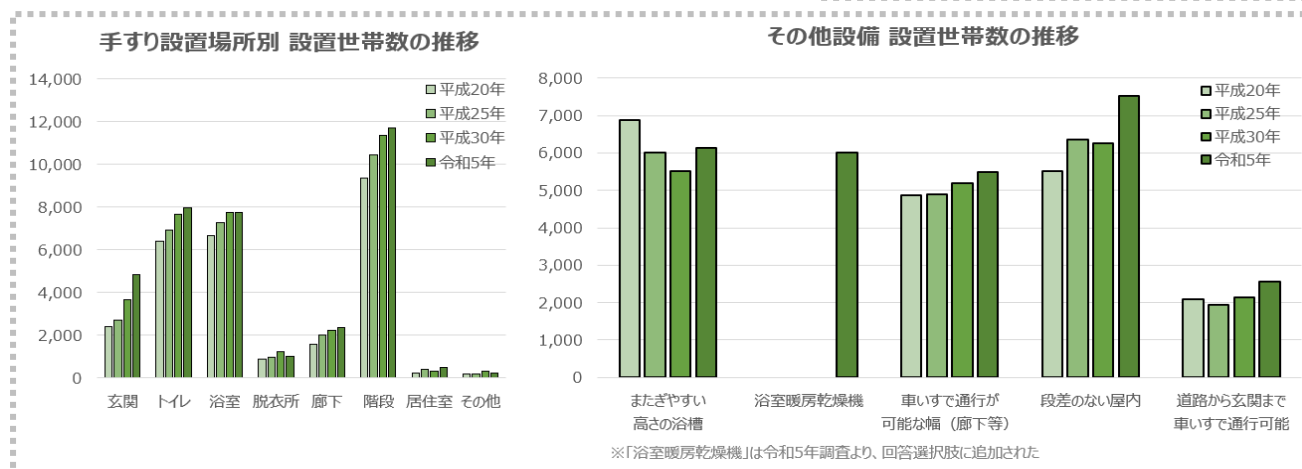
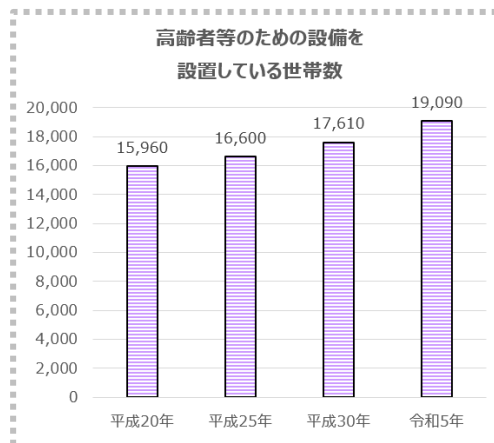


◇高齢者等のための設備設置の状況

高齢者等のための設備（手すり、車いすが通行可能か等）を設置している世帯数は19,090世帯であり、平成20年から3,130世帯増加しています。

手すりを設置している世帯は16,170世帯という結果でした。下のグラフを確認すると、設置場所は階段が最も多いことがわかります。

その他設備では、段差のない屋内をもつ世帯が多く7,530世帯という結果でした。平成30年と比べると1,270世帯増加していました。



★今回の数字の答え★

令和5年 坂井市の空き家数